

信頼こそ、
私たちの資産。Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

アムンディ・次世代医療テクノロジー®・ファンド（年2回決算型）

愛称： **みらいメディカル®**

追加型投信/内外/株式



次世代医療テクノロジー®、みらいメディカル®、MEDITECH®およびメディテック®はアムンディ・ジャパンの登録商標です。

2023年8月

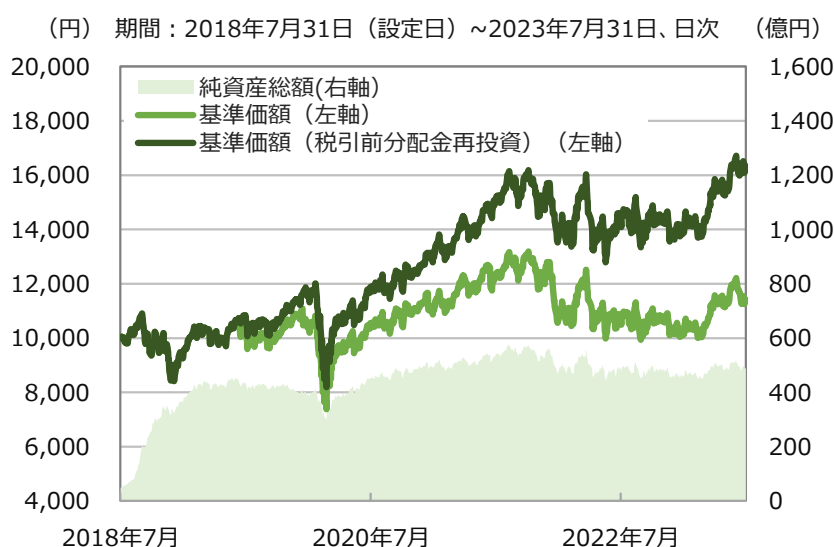


みらいメディカル®アップデート 組入上位銘柄の2023年4-6月期決算概況

設定来のファンドのパフォーマンスは+63.4%*（2023年7月31日現在）

* 基準価額（税引前分配金再投資）を基に算出。

【基準価額と純資産総額の推移】

基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資した
ものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。

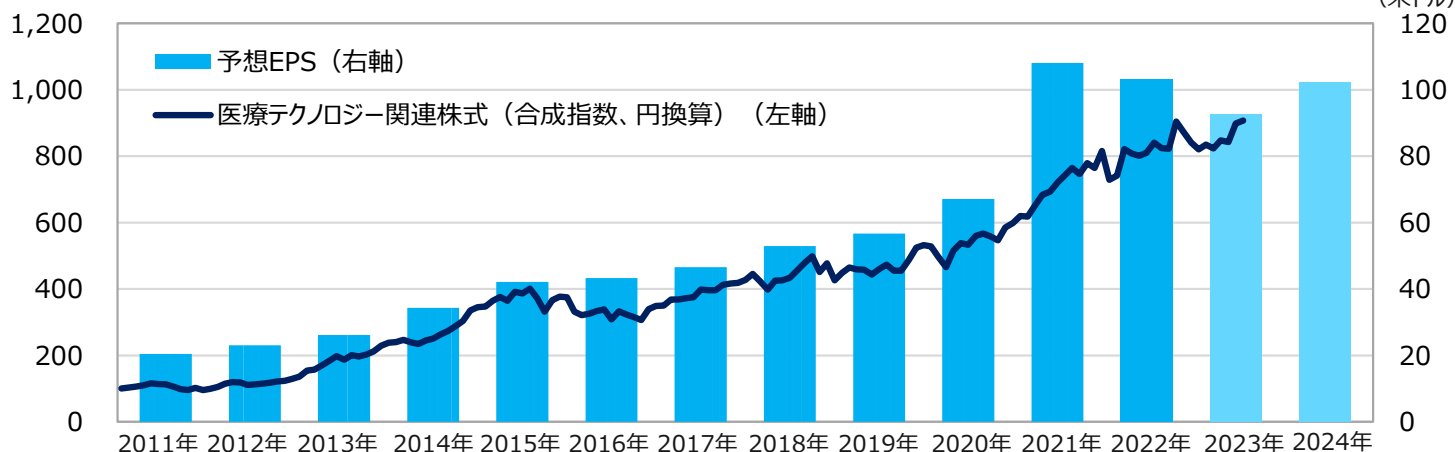
2018年7月に設定された当ファンドは、2023年7月
月末現在、約63%のプラスリターン*となっています。
当資料では、アムンディ・次世代医療テクノロジー®・
マザーファンド（以下、マザーファンド）における組入
上位銘柄の決算概況について確認していきます。

＜今後の見通しと運用方針＞

医療テクノロジー関連銘柄は、病院のスタッフ不足
解消などによる短中期的な循環要因に加え、高齢
化やイノベーションなど長期的な追い風も続いており、
売上高と収益性の改善が持続すると期待しています。
ポートフォリオでは、手術件数の増加が支えとなる心
血管/神経、バリユーション調整が進んで魅力が改
善した診断機器、景気の不確実性が薄れたことが
支えとなる非侵襲的治療機器などの組入れが高い
ものとなっています。

(CPRアセットマネジメント 2023年7月末現在)

【ご参考：医療テクノロジー関連株式（合成指数、円換算）のパフォーマンスと予想EPSの推移】



出所：ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。期間：医療テクノロジー関連株式（合成指数、円換算）は2010年12月
末～2023年7月末、月次、2010年12月末を100として指数化。米ドルベースの月末より1日前のデータ（トータルリターン）を各月末の三菱UFJ銀行
対顧客公示相場レートを用いて換算。月次リバランス。予想EPSは2011年から2024年、年次、2022年までは各年末時点、2023年以降は2023年7
月末時点における予想値を基に、各指数の時価総額加重平均により算出。医療テクノロジー関連株式（合成指数）の米ドルベースの予想EPSを使用。
医療テクノロジー関連株式（合成指数）の詳細については、P6の【当資料で使用した指数について】をご覧ください。使用した指数は、いずれもファンドのベン
チマークではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
当資料のご使用に際しては、P5「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

アボットラボラトリーズ (アメリカ) 堅調な基本事業の業績により約100億米ドルの売上高達成

1888年創業の長い歴史を持つ総合ヘルスケア企業。ジェネリック製品の他、診断薬・機器、血管および心疾患治療機器、ニューロモデュレーション機器など開発・製造。

2023年7月末現在の
マザーファンドの組入比率 7.87%
(組入 1位)

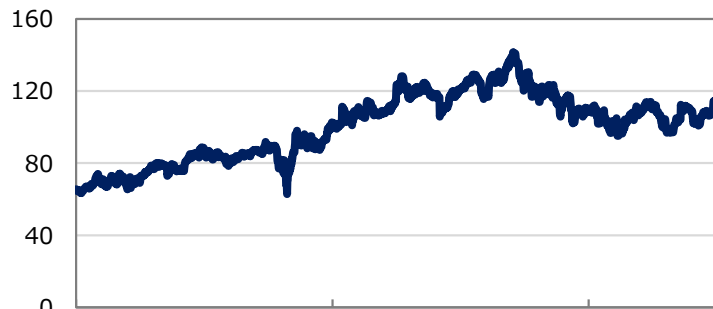
2018年7月31日 (ファンド設定日) ~
2023年7月31日の株価騰落率 +69.9%

2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：99.8億米ドル (前年同期比-11.4%)
- EPS：0.82米ドル
- 新型コロナウイルス感染症の検査関連の減少により売上高は前年同期比でマイナスとなったものの、医療機器やエスタブリッシュ医薬品等のけん引により、基本事業の有機的売上高は、同比11.5%増加。
- 398四半期連続配当を発表。51年連続で増配。25年以上連続で増配している企業で構成される「S&P500配当貴族指数」の構成銘柄。

【株価の推移】

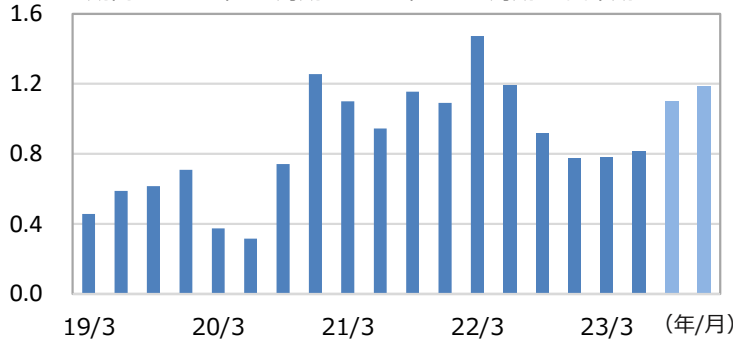
(米ドル) 期間：2018年7月31日~2023年7月31日、日次



2018年7月 2020年7月 2022年7月

【EPS (1株当たり利益) の推移】

(米ドル) 期間：2019年1-3月期~2023年10-12月期*、四半期



*2023年7-9月期以降は予想 (2023年8月17日現在)

ボストン・サイエンティフィック (アメリカ) 各セグメント、各地域の売上高がプラスと好調

低侵襲性の外科的治療機器などを幅広い領域に展開。心血管や末梢血管疾患領域のほか、不整脈・心不全治療領域、消化器・呼吸器・泌尿器・神経疾患領域などをカバー。

2023年7月末現在の
マザーファンドの組入比率 7.68%
(組入 2位)

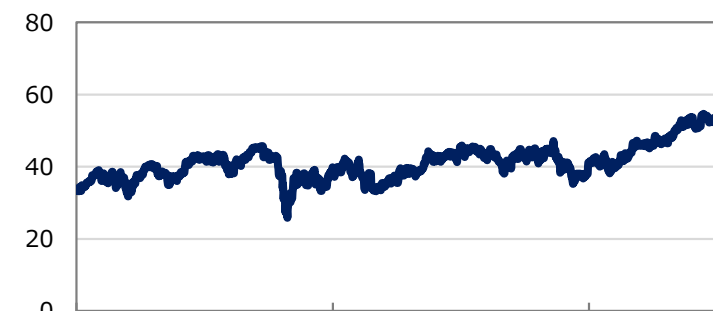
2018年7月31日 (ファンド設定日) ~
2023年7月31日の株価騰落率 +54.3%

2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：36.0億米ドル (前年同期比+10.9%)
- EPS：0.41米ドル
- 前年同期と比較して各セグメントで売上高がプラス。(医療外科：+9.0%、心血管：+12.2%)
- 前年同期と比較して各地域でも売上高がプラス。米国：+9.1% 欧州、中東、アフリカ：+9.6% アジア太平洋：+18.0%、ラテンアメリカおよびカナダ：+16.9%、新興市場*：+18.8%
* 同社定義による

【株価の推移】

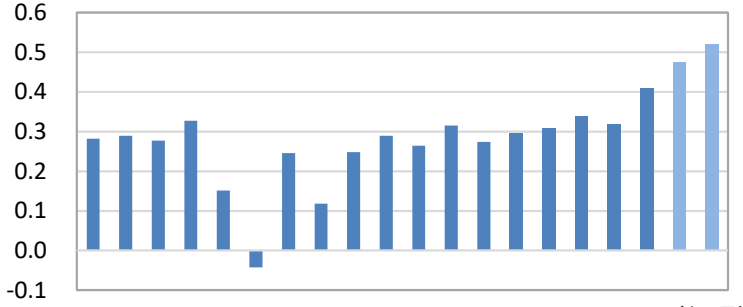
(米ドル) 期間：2018年7月31日~2023年7月31日、日次



2018年7月 2020年7月 2022年7月

【EPS (1株当たり利益) の推移】

(米ドル) 期間：2019年1-3月期~2023年10-12月期*、四半期



*2023年7-9月期以降は予想 (2023年8月17日現在)

出所：各社の情報は各社ホームページ、各種情報を基に、株価、EPSはブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。EPSは継続事業希薄化後1株当たり利益。上記銘柄は2023年7月末現在の組入銘柄の一部であり、今後の組入れを示唆・保証するものではありません。また、当該企業が発行する有価証券の売買を推奨・勧誘するものではありません。各銘柄の組入比率は純資産総額比、組入順位は2023年7月末現在。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
当資料のご使用に際しては、P5「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

インテュイティブサージカル（アメリカ） 手術件数が前年同期比+22%と好調

安全性が高く患者負担の小さい低侵襲外科手術を実現した手術支援ロボット「ダヴィンチ」と関連装置を開発・製造。

2023年7月末現在の
マザーファンドの組入比率 6.52%
(組入 3位)

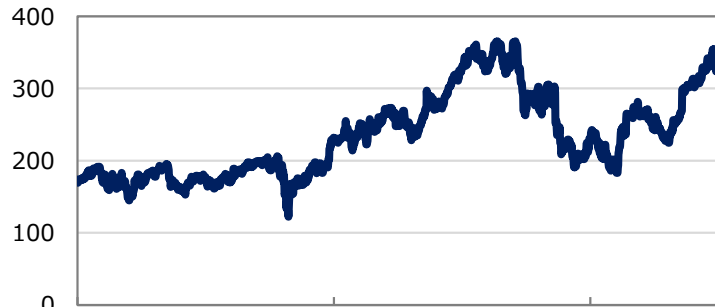
2018年7月31日（ファンド設定日）～
2023年7月31日の株価騰落率 +91.5%

2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：17.6億米ドル（前年同期比+15.4%）
- EPS：1.20米ドル
- ダヴィンチシステムの設置台数は、前年同期比+18.6%、インストールベースでは同比+12.7%。
- 2023年4月、米国食品医薬品局（FDA）はダヴィンチSP手術システムを単純性前立腺切除術のための代表的な手術として承認。これにより同システムの泌尿器科領域における適応拡大へ。

【株価の推移】

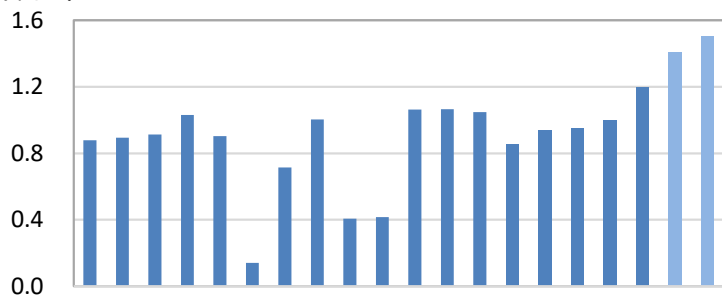
(米ドル) 期間：2018年7月31日～2023年7月31日、日次



2018年7月 2020年7月 2022年7月

【EPS（1株当たり利益）の推移】

(米ドル) 期間：2019年1-3月期～2023年10-12月期*、四半期



19/3 20/3 21/3 22/3 23/3 (年/月)

*2023年7-9月期以降は予想（2023年8月17日現在）

ストライカー（アメリカ） 依然旺盛な需要を背景に、既存事業売上高は力強い伸びに

手術室関連機器・システムに加え、人工股関節や人工ひざ関節、骨接合材料、脊柱疾患の外科的治療用インプラント、脳血管内治療機器などを展開。

2023年7月末現在の
マザーファンドの組入比率 5.69%
(組入 5位)

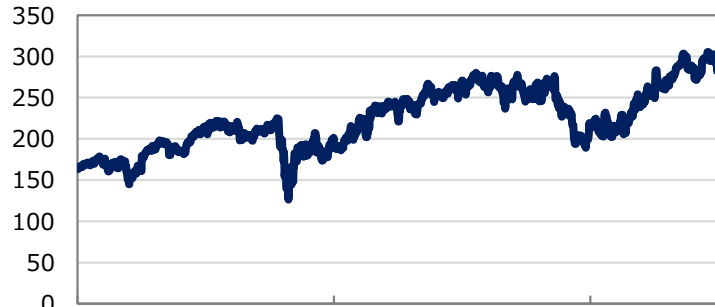
2018年7月31日（ファンド設定日）～
2023年7月31日の株価騰落率 +73.6%

2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：50.0億米ドル（前年同期比+11.2%）
- EPS：2.22米ドル
- 販売の増加等により各分野の売上高（前年同期比）は、医療・手術用機器・ニューロテクノロジー+12.2%、整形外科・脊柱+9.9%。
- 年初来の業績、引き続き良好な手術動向等から、2023年通年の既存事業売上高成長率の同社予想は9.5%～10.5%。

【株価の推移】

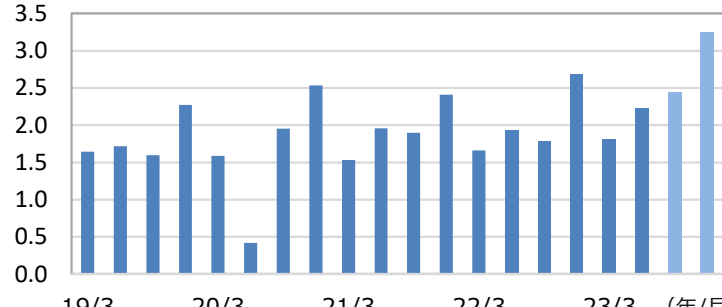
(米ドル) 期間：2018年7月31日～2023年7月31日、日次



2018年7月 2020年7月 2022年7月

【EPS（1株当たり利益）の推移】

(米ドル) 期間：2019年1-3月期～2023年10-12月期*、四半期



19/3 20/3 21/3 22/3 23/3 (年/月)

*2023年7-9月期以降は予想（2023年8月17日現在）

出所：各社の情報は各社ホームページ、各種情報を基に、株価、EPSはブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。EPSは継続事業希薄化後1株当たり利益。上記銘柄は2023年7月末現在の組入銘柄の一部であり、今後の組入れを示唆・保証するものではありません。また、当該企業が発行する有価証券の売買を推奨・勧誘するものではありません。各銘柄の組入比率は純資産総額比、組入順位は2023年7月末現在。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
当資料のご使用に際しては、P5「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

デクスコム (アメリカ) 売上高 (前年同期比) が米国+21%、米国外+38%と共に2桁台の増加

糖尿病患者の血糖値管理のための間質液中グルコース濃度持続的測定機器を開発製造。

2023年7月末現在のマザーファンドの組入比率	4.71% (組入 7位)
2018年7月31日 (ファンド設定日) ~ 2023年7月31日の株価騰落率	+423.7%

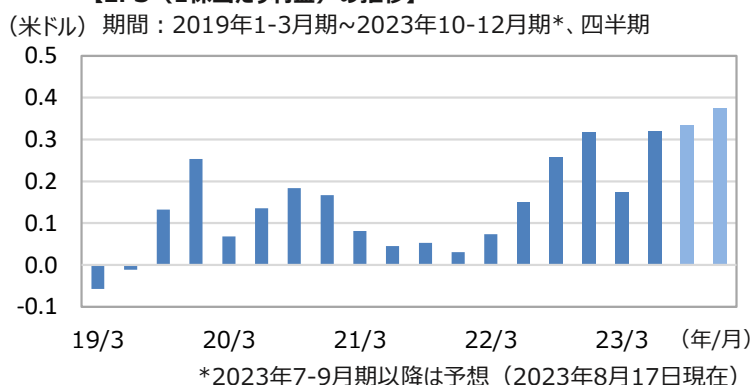
2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：8.7億米ドル (前年同期比+25.2%)
- EPS：0.32米ドル
- 糖尿病管理のための持続血糖測定器 (リアルタイムCGM) の認知度が高まる中、新規顧客の増加に伴う販売台数の増加が引き続き収益増加主要因に。
- 2023年通期の売上高の同社見通しは、約35億米ドル~35.5億米ドル (20~22%の増加)。

【株価の推移】



【EPS (1株当たり利益) の推移】



エドワーズライフサイエンス (アメリカ) 好調な業績と医療従事者の人材不足改善は通期見通しの追い風に

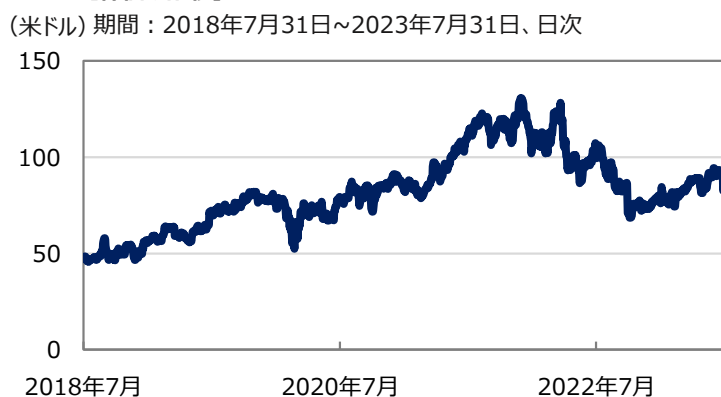
世界で初めて人工心臓弁を製品化した弁膜症治療製品のパイオニア。現在は主に外科的弁膜症治療、経カテーテル大動脈弁治療、クリティカルケア領域を研究開発・製造。

2023年7月末現在のマザーファンドの組入比率	2.82% (組入 12位)
2018年7月31日 (ファンド設定日) ~ 2023年7月31日の株価騰落率	+72.8%

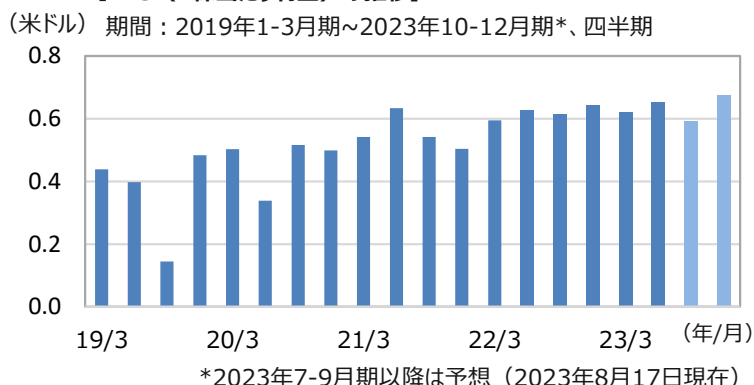
2023年4-6月期決算のポイント

- 売上高：15.3億米ドル (前年同期比+11.4%)
- EPS：0.65米ドル
- 4製品グループの売上高内訳は、TAVI (経カテーテル大動脈弁治療)：9.9億米ドル、経カテーテル僧帽弁および三尖弁治療：0.5億米ドル、構造的疾患外科治療：2.6億米ドル、クリティカルケア：2.4億米ドル。
- 2023年通期の為替の影響を除いたTAVI売上高の同社見通しは10~13%の増加。

【株価の推移】



【EPS (1株当たり利益) の推移】



出所：各社の情報は各社ホームページ、各種情報を基に、株価、EPSはブルームバークのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。EPSは継続事業希薄化後1株当たり利益。上記銘柄は2023年7月末現在の組入銘柄の一部であり、今後の組入れを示唆・保証するものではありません。また、当該企業が発行する有価証券の売買を推奨・勧誘するものではありません。各銘柄の組入比率は純資産総額比、組入順位は2023年7月末現在。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
当資料のご使用に際しては、P5「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



みらいメディカル®は、SDGs（2015年国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標）の1つである「3. すべての人に健康と福祉を」の達成に貢献します。

SDGs 出所：国際連合 https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/sustainable_development_goals/

ファンドの目的

主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

ファンドの特色

- ① アムンディ・次世代医療テクノロジー®・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)受益証券への投資を通じて、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資します。
・ファンドにおける医療テクノロジー関連企業には、医療機器、診療器具、画像装置、医療サービス等が含まれます。
- ② マザーファンドにおいては、個別銘柄選択を重視した運用を行います。
・マザーファンドにかかる運用指図の権限は、CPRアセットマネジメントに委託します。
- ③ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 年2回決算(原則として毎年1月および7月の各15日、休業日の場合は翌営業日)を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

投資リスク

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、特定の業種への集中投資リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還やファミリーファンド方式の留意点、分配金に関する留意事項、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。>

当資料のお取り扱いについてのご注意

- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ・投資信託は、値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- ・投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。
- ・当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。

換金時	換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について	申込受付不可日	以下のいずれかに該当する場合には購入・換金のお申込みを受付けません。 ・ユーロネクストの休業日 ・フランスの祝休日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・米国証券業金融市場協会が定める休業日 ・委託会社が指定する日
	申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
	申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。

その他	信託期間	2028年7月14日までとします。(設定日:2018年7月31日)
	繰上償還	委託会社は、ファンドの投資信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなったときまたは信託を終了させることが投資者のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を繰上げて信託を終了させることができます。
	決算日	年2回決算、原則として毎年1月および7月の各15日です。休業日の場合は翌営業日とします。
	収益分配	原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
	課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

【当資料で使用した指数について】

医療テクノロジー関連株式（合成指数）：MSCIワールド・ヘルスケア機器サービス・インデックス、MSCI World Biotechnology GICS Level 3 Index、MSCI World Life Sciences Tools & Services Indexを時価総額で加重平均して算出。
MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。

お申込の際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

投資者の皆さまにご負担いただく手数料率の概要は以下の通りです。なおこれらの費用は事前に計算できないことから実際にご負担いただく費用の金額、合計額、それぞれの上限額および計算方法は記載していません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの費用

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3% (税抜3.0%) です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

<投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し年率1.793% (税抜1.63%)を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。</p> <p>毎計算期間末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。委託会社がマザーファンドの投資顧問会社に支払う報酬額は、投資信託財産の日々の純資産総額に年率0.80%を上限として乗じて得た金額とし、毎計算期間末または信託終了のとき、委託会社の報酬から支払うものとします。</p> <p>◆上記の運用管理費用（信託報酬）は、当資料作成日現在のものです。</p>
その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 <p>* その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</p>

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	<p>アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p>
受託会社	株式会社 リそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する 照会先	<p>委託会社の名称: アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン: 050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス: https://www.amundi.co.jp/</p>

(2023年7月末現在)

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(インターネットトレードのみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○			○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○	
三菱UFJ信託銀行株式会社(インターネットトレードのみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○			○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		○		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○		○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○	○

アムンディ・ジャパン株式会社
「みらいメディカル®」特設サイト

スマホで今すぐアクセス!



<https://www.amundi.co.jp/fund/focus/miraimedical.html>